



中小企業の明日を支える人材が集まる

中小企業支援士協会報

発行：中小企業支援士協会2026年8月17日（月2回発行通番第116号）

「中小企業政策の大転換」セミナー実施しました

皆さんこんにちは、中小企業支援士協会代表 落藤伸夫です。中小企業を支える皆さんにメッセージをお送りします。

前回、政府が発表した「骨太の方針2026」についてこの欄でご説明した後、8月上旬に東京の中小企業団体が主催するセミナーで同様の発表を行いました。中小企業政策にフォーカスした内容で、昨年からの100億企業宣言政策に加えて今後は10億円、1億円を目指す企業にも宣言のチャンスが与えられ、今まで以上の支援が行われる方向性だと、お話しさせて頂きました。主催者からは当日映像をYoutubeで公開する予定とのこと、公表された場合にはお伝えしますので、是非、ご覧になって下さい。

今回の政策見直しのポイントは「今後は、成長を目指す企業に重点的に支援する」ことです。市場もある、自社も拡大を望んでいる、との企業への支援に軸足を移すという趣旨です。振り返って考えてみると、高度成長時代は国と企業の発展は二人三脚だった、最近では成熟社会にシフトする中、わが国としては発展しなければ持続可能な社会とは言えない、大企業が十分に成長した中、中小企業が成長してくれることが、国が活力を取り戻す原動力になるだろう、そのような意図ではないかと考えられます。

中小企業の中には今の市場で持続、即ち地盤を固め、地域やサプライチェーンへの貢献を目指す企業もあるでしょう。それら企業への支援も維持しつつ、成長を目指す企業への支援に軸足を移すことで企業と国の共存共栄、それはまた社員をはじめとした国民や地域社会との共存共栄に繋げようとの意識と考えられます。中小企業への支援を行っていくうえで、踏まえておくべき方向性だと感じています(代表 落藤 伸夫)

協会活動報告

【共創金融コラム】共創の成功条件：「共成功」信念

<https://www.innovations-i.com/column/finance-together/16.html>

【共創金融コラム】共成功信念とWin-Winとの違い（2026/6/22）

<https://www.innovations-i.com/column/finance-together/17.html>

【中小企業支援士協会メルマガ】<https://www.reservestock.jp/subscribe/357560>

支援雑感

天変地異が連続する時代を考える

夏に入るとゲリラ豪雨が話題になるようになってしばらくたちます。昭和時代の小学校では「台風は春から南の海で発生しているが、日本に到来するのは夏以降、それも9月がメイン」と教えていましたが、今では春から直撃する場合もあります。今年は過去はじめて、台風が東から西へのルートで茨城県に上陸、その後も千葉県などで大きな浸水被害がありました。加えて熊本県を震源地に九州で大きな地震がありました。

天変地異は以前からも起きていたが、以前は「不意を襲われた」感覚です。でも今は「またか」と思ってしまいます。その転換点はいつか？ChatGPTに問うと、2018年だと指摘しました。特に豪雨被害が顕著になったのです。

このような状況下、何が必要か？天変地異が襲い、それが去った後に何をすれば良いのかを事前に明らかにするBCP(事業継続計画)策定は必須と考えられます。地味な取組みですが、支援メニューに加えたいと思います。

読書感想

「生産性マネジメントの教科書」

(河野庸子 本間正人) <https://link.amazon/B08Q92LTW>

この本は管理職研修リバイスの題材として手にしました。以前、マネジメント・コントロール・システム論ベースの課長研修を実施、実施企業から「自分が行うべきマネジメントとは何か、考えるようになった」と喜んで頂きました。

「課長の仕事には、理想像があるのではないかと？皆それを目指しているのではないかと？」とお考えもあるかもしれません。筆者は違う意見で、会社が何を目指し、職場には何が課題となっていて、課長や課員はどんな人か。によって変わると考えています。

一方で「生産性向上」というテーマがあるなら、マネジャーの仕事は限られるのではないかと、定型的な部分があるのではないかと、そう思って本書を手にしたのです。この予想は、良い意味で裏切られました。「部下を伸ばす」にはやはり、オーダーメイドのマネジメントが必要なようです。ポイントとして挙げられている7点は「逆転の発想」で、大いに参考になりました。マネジメントを考えようとする時、一読に値すると思えました。

発行者：中小企業支援士協会

Small and medium Business Supporters Association

参加団体：事業性評価支援士協会

10億円企業創成支援研究会

(中小企業支援士事務所StrateCutions内)

連絡先：info@besa-sc.com (担当者) 落藤伸夫